

## △アサコール錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】メサラジン Mesalazine 【分類】潰瘍性大腸炎治療剤

【単位】△400mg/錠

【常用量】2400mg/日 [活動期には3600mg/日 (8週間以内を目安)]

寛解期には「1回2400mgを1日1回食後投与」が選択可

【用法】1日3回食後

【透析患者への投与方法】重篤な腎障害患者では禁忌 (1)

【その他の報告】副作用に注意して適用可能と思われる (5)

【保存期CKD患者への投与方法】排泄が遅延し、副作用があらわれるおそれがあるため慎重投与、重篤な腎障害患者では禁忌 (1)

【特徴】メサラジンを高分子ポリマー（メタクリル酸コポリマー）でコーティングすることにより、pH7以上になる回腸末端から大腸全域にメサラジンが放出されるように設計された5-ASA製剤。

【主な副作用・毒性】血球減少、間質性肺炎、心筋炎、膵炎、間質性腎炎、ネフローゼ症候群、肝機能障害、過敏症、腎障害など

【安全性に関する情報】腎障害の発現についてモニターが必要 (Guillo L, et al: Dig Liver Dis 2021 PMID: 33563584)

5-ASAは急性間質性腎炎の主な原因薬剤であるため定期評価が必要 (Moss JG, et al: Eur J Med Res 2022 PMID: 35488310)

【モニターすべき項目】eGFR、尿蛋白 (Guillo L, et al: Dig Liver Dis 2022 PMID: 34866011)

【ka】1.630±0.167/hr (1)

【F】大腸内の環境による、28% (1) でペンタサ錠より低い。pH7.0以上でコーティングが溶解する (U)

【tmax】12~18hr (1) 4~12hr (U)

【代謝】NATによりアセチル化されて腎臓から排泄される (1) アセチル化体には活性はない (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率0.4%、アセチル体20.3% [96hrまで] (1) 80%が糞便中に回収 (U)

【CL/F】120~240L/hr (1)

【t1/2】9~33hr (1) 5-ASA3hr、アセチル化体10hr (U) 【ke】0.121±0.012/hr (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd/F】1220±754L/man (1)

【MW】153.14

【透析性】資料なし (1)

【相互作用】CYPは阻害しない (1)

【更新日】20230130

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。